

科目名 広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)

配当 修道スタンダード科目

入学年度 2007- 担当者 森島 吉美他

群	クラス	単位数	開期	配当年次	備考
	01	2	前期	2	

講義題目	「今・ここ」のヒロシマーヒロシマの平和、平和のヒロシマ
講義の概要と方針	<p>講義の柱は二つ。 一つは、広島市が世界の大学に設置をすすめる「広島・長崎講座(被爆都市広島、長崎の事実を後世にいかにつづけていくか)」の中味、いま一つは、「今・ここ」の広島を学ぶこと。広島修道大学が広島市に位置する以上、「ここで、今」学ぶことの意味を学生に体感させること。 修道大学に来る留学生が増えてきている今、また、修道大学から海外に出て行く学生が増えている今、世界の国々に、「今・ここ」の広島を伝える中味・その伝え方を模索する。</p>
講義計画	<p>講義は、現地学習があることから、(場合によっては)人数を制限せざるをえない。授業は金曜日の1限目にあるが、現地学習は土曜日となる。 なお、以下に記すスケジュールは前後する可能性があり、その詳細はそれぞれ講義や掲示等で示す。</p> <p>1)4/10「広島学」概要説明(担当者 森島吉美、市川薫) 2)4/17「広島・長崎講座」の趣旨説明(担当者 森島、広島市長) 3)4/24 平和問題とジャーナリズムのあり方(担当者 森島、中国新聞特別編集委員 田城明) 4) 5/8 ドイツのユダヤ人問題(担当者 森島) 5)5/22 原爆小頭症患者との出会いと生きることの意味(担当者 森島、俳優 斉藤ともこ) 6)5/29「戦争と広島」ー現地学習のための事前授業 今回以降9)までは、受講生は2グループに分かれる。 A班: 広島平和記念資料館について(森島担当) B班: 江田島海上自衛隊第1術科学校について(市川担当) 7)5/30 現地学習(土曜日の予定) A班: 広島平和記念資料館(被爆者体験の語りを聞くことも含む) B班: 江田島海上自衛隊第1術科学校見学 8) 6/5「戦争と広島」ー現地学習のための事前授業(A/B班の訪問先が入れ替わる) A班: 江田島海上自衛隊第1術科学校について(市川担当) B班: 広島平和記念資料館について(森島担当) 9) 6/6 現地学習(土曜日の予定) A班: 江田島海上自衛隊第1術科学校見学 B班: 広島平和記念資料館(被爆者体験の語りを聞くことも含む) 10)6/12「茶の湯と広島」ー現地学習のための事前授業(担当者 森島、上田宗箇 流から事務局次長湯川) 11)6/13 現地学習(上田宗箇流茶道)(担当者 森島) 12)6/19 宮島と町家通り(担当者 髙尾) 13) 7/3 講義のまとめ(担当者 森島、市川) 14)7/17 レポート提出(授業時にレポート提出、担当者 森島)</p>
履修上の注意事項	<p>現地学習、学外講師を招くことから、授業態度・時間の厳守が求められます。 また、現地学習においては、バス等での移動や、授業日が土曜日になることもあります。</p>
学習の到達目標	<p>広島「今・ここ」を「今・ここ」で学ぶこと。「今・ここ」の広島を語る力を手に入れること。</p>
成績評価基準	<p>授業への出席(30%)、レポート提出(70%)。</p>
テキスト	<p>特になし。</p>
参考文献	<p>講義の中で適宜指示。</p>
主な関連科目	